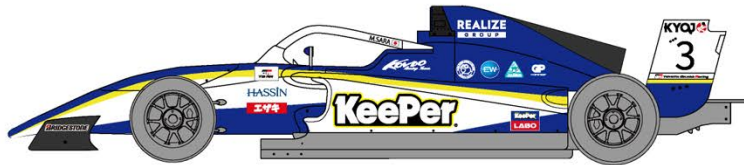


# 女性限定モータースポーツシリーズ「KYOJO CUP」に「KeePer KONDO RACING」として参戦



KeePerは、国内外から高い注目を集める女性限定モータースポーツシリーズ「KYOJO CUP」に、2026年シーズンより「KeePer KONDO RACING」として参戦します。チームは歌手・俳優・実業家・レーサーとして多方面で活躍する近藤真彦氏により2000年に創設された日本のプロレーシングチーム「KONDO RACING」。ドライバーは、レース界期待の超新星ドライバー松井沙麗選手。SUPER GTと同じくKYOJOレースでもKeePerをアピールしていきます！



- マシン名: KeePer KONDO RACING KC-MG01
- エントリー名: KONDO RACING
- 監督: 近藤真彦
- ドライバー: 松井沙麗 (まついさら)
- ゼッケン: #3



## 大注目! KYOJO最年少15歳のドライバー 松井沙麗選手スペシャルインタビュー!



—レースをはじめたきっかけは?

5歳のとき、カートレースをしていたお父さんの姿を見て、私もやってみたいと思ったのがきっかけです。翌年にはレースに出場し、6歳の頃にはプロになろうと思っていました。スピードが出れば出るほど楽しかったし、他の選手とのバトルも好きでした。

—イギリスの名門F1チームウィリアムズ・レーシングのドライバー育成プログラム「ウィリアムズ・ドライバー・アカデミー」に13歳の時から2年間所属されていたが、どんな活動をしていましたか?

ヨーロッパ各地を転々としながらレースに参戦しました。日本に比べてヨーロッパのコースは過酷なので、特にフィジカルトレーニングに取り組みました。お父さんとお母さんは日本を離れられないので、ヨーロッパには英語が話せる保護者代わりの方と一緒にしていました。ヨーロッパの生活が大好きだったので全然寂しくなく、もっと長く住みたいって思うくらいでした。ただ言葉の壁は大きかったですね。毎日意識して英語を話すようにしていました。練習走行はレースウィークとその1週間前の週末くらいで不十分な状況でレースに挑むことが多かったです。クラッシュ

など最初は怖かったですが、何回もクラッシュしていくうちに慣れました(笑)。この2年間でレースバトルの強さやメンタルも鍛えられました。また「英語力」「コミュニケーション能力」も身に付いたと思っています。

現在はアカデミー所属という形ではないものの、契約下でトレーニングドライバーとしてサポートを受け、年に数回訪問し、フィジカルやシミュレーターのトレーニングを行なっています。

—KYOJOに参戦したきっかけと魅力を教えてください。

KYOJO CUP代表の関谷さんが小さな時から目をかけてくださり「いつかKYOJOに出てほしい」と声をかけてくださっていました。15歳になってライセンスが取得できる年齢になったのもあります。

KYOJOの魅力は、やはり女性限定のレースであること。現在、モータースポーツの女性ドライバーや関係者が少ない中、注目を浴びているレースだと思います。最近では海外のドライバーも増え、海外でも知れ渡っているのも印象深いです。モータースポーツ界に女性を増やしていく効果は大いにあると思います。それに



若干5歳でレーシングカートを始め、国内外で数々の勝利を重ね、全日本ジュニア選手権で女性初優勝という快挙を達成した松井選手。期待のルーキーがキーパーとともにKYOJOを盛り上げます!

加われることはとても光栄です。

—KeePerの印象は?

全国いろんなところでKeePerのロゴを見ます。誰もが知っているメーカーにサポートいただくことになったのが不思議で、驚き

です。SUPER GTにも参戦していてモータースポーツを支えてくださるパワーを感じています。

—今シーズンのKYOJO CUPレースははじめ、今後の目標は?

フォーミュラにフルコースで乗るのは初めてで、カートと比べてタスクが多いです。特に荷重移動がカートとは全く異なるので苦戦しています。私の強みは負けず嫌いです。ヨーロッパでの2年間の経験を活かし、自分の持っている最大限のパフォーマンスを発揮して、シリーズチャンピオンを獲得したいです。また来年以降はF1と併催の女性限定レース「F1アカデミー」でシリーズチャンピオンを獲り、F3、F2と段階を踏んでいつかF1に参戦するのが夢です。どんなレースでも強さとスピードを見せて、女性のドライバーといえば松井沙麗と言われるようにになりたいです。



4/4(土)、モビリティリゾートもてぎにて記者会見が行われた。多くのメディア陣がカメラを向ける中、15歳とは思えない器用なコメント! 強い選手のインタビューを見て、話し方を勉強したそう。

### SARA MATSUI

2010年、東京都生まれ。父親の影響で5歳からカートを始め、6歳でレースデビュー。2024年、日本人として初めて「ウィリアムズ・ドライバー・アカデミー」に所属。現在ウィリアムズF1チームのサポートドライバーとして在籍中。2026年4月現在15歳(現役高校1年生)。2024年以降はヨーロッパを中心に活動の場を広げ、国際舞台で着実に実績を積み上げる。2025年12月に開催されたKYOJO初の国際トライアウトでは、世界各国の有力選手が集う中、総合2位のタイムを記録する。

### 【レーススケジュール】

開催場所は全ラウンド「富士スピードウェイ」。  
R2-R4はスーパーフォーミュラとの併催です!

ラウンド	日程
Round 1	5月9日(土)・5月10日(日)
Round 2	7月18日(土)・7月19日(日)
Round 3	9月5日(土)・9月6日(日)
Round 4	10月10日(土)・10月11日(日)
Round 5	10月31日(土)・11月1日(日)

## KYOJO設立者 関谷正徳氏からメッセージ

KYOJO CUPは、今年で10年目を迎えます。今年から新たに近藤真彦監督率いるKONDO RACINGから松井沙麗選手が出場、また第2・4戦はスーパーフォーミュラと同時開催になります。女性ドライバーがイコールコンディションで競い合うKYOJOは、選手の個性とスキルがより際立ち、初心者でも楽しめるレースです。ぜひ推しの選手を作ってライブで楽しんでほしいです。またKYOJOを通じて、モータースポーツ界で女性が活躍し、輝いていける場所を提供していきたいです。また多くの人にモータースポーツへの理解を深めていただき、モータースポーツが危険なものではなく、日本の車社会におけるエコや交通安全にもつながることを伝え、日本の車産業の発展にも貢献していきたいと考えています。



### MASANORI SEKIYA

1949年、静岡県生まれ。日本の元レーシングドライバー。1995年のル・マン24時間レースで日本人として初めて総合優勝を果たしたレジェンド。引退後はトヨタ・ドライバー育成プログラム(FTRS)の校長や「インタープロトシリーズ(IPS)」[KYOJO CUP]のプロデューサーとして、若手や女性ドライバーの育成に尽力している。

## いつか1級を取得して、日々技術を磨いてキーパー技術コンテストで良い結果を残したいです!



### キーパー技術コンテストへの出場がコーティング資格取得のきっかけでした。

高校生の頃に当社のガソリンスタンドでアルバイトをしていました。その後、別の仕事をして結婚、出産のタイミングで地元に戻ってきました。子どもが成長したタイミングであるアルバイト時代にお世話になっていた社員の方から「戻ってこないか」と声をかけていただき、契約社員として約3年勤めています。

こじま みく  
小島 美愛 さん  
(株)東日本宇佐美 7号荒川給油所  
(新潟県村上市)



現在コーティング技術2級を取得しています。資格を取得するきっかけは上司から「キーパー技術コンテストに出てもらおうから資格をまず取ってきなさい」と言われたこと。唐突のできごとでした(笑)。2024年に初めてキーパー技術コンテストに出場しました。緊張して頭が真っ白になって全然ダメでした。2025年も予選通過することはできませんでしたが点数は前年を上回ることができました。コンテストに出場し、いろいろな選手の施工を見たり、自分の施工に対してアドバイスをもらったりと技術の向上につながることができました。今年もぜひ挑戦したいと思っています。

ダイヤIIキーパーが好評です! 予約もたくさんいただいています。

ダイヤIIキーパー、とても好評です。いちばん最初にダイヤIIキーパーの予約を受けたのが私でした。新車がまもなく納車されるお客様に「12月にダイヤIIキーパーという新商品が出るんですけどいかがですか?」とおすすめるすると「ぜひしてみたいです!」をおっしゃって、施工していただいたら「やってよ

かった!」とすごく喜んでいただけました。CMを見て来店される方も多くいらっしゃいます。3、4月は繁忙期なのですが、たくさんの予約をいただいています。お客様の目線になって、どうしたらキレイになり喜んでいただけるかを考えて施工しています

キーパーコーティングの良さは施工後すぐに分かるツヤ感や撥水力です。コーティングブースがあるのでお客様に安心してお任せいただいています。普段の施工では、お客様目線になって、どうしたらキレイになって喜んでいただけるかを考えて施工しています。コーティングだけでなく私を頼っていただけるお客様がいるだけでやりがいになります。今後はできれば1級を取得して、日々施工技術を磨き、コンテストで結果を残すことが目標です!



5歳の女の子のママである小島さん。「子どもと過ごす時間が何よりも癒しです。最近子どもと一緒に旅行に行くのが楽しみです!」